



# 燃える滝二の創造

(表題は本校校訓)

クイズの答え: ロウソク

令和2年6月19日 No. 6  
発行: 滝沢市立滝沢第二中学校  
〒020-0611 滝沢市巣子152-91  
TEL 019-688-4907 fax 019-688-7160  
文責 校長 三浦 猛雄

## Good Loser だれ!

先日の全校(放送)朝会で、地区中総体やコンクール・競技会に向けて頑張っている生徒たちに向けて、以下のような話をしました。

・・・(中略) 毎年様々な大会が世界中で行われます。日本、県や地区においても。今年新型コロナウイルスの関係で、多くの大会や試合が中止、あるいは延期になっていますが、今年度の地区中総体は様々な方々の努力のおかげで7月下旬に行えることになりました。運動部の皆さんには一生懸命準備をし、悔いのない大会にしてほしいと願っています。

ところで、昨年ラグビーワールドカップで感動したことがあります。それは、アイルランドの選手たちが、格下と思われていた日本に敗北を喫した時のこと。彼らは自分たちが負けた悔しさはきつとあったに違いありません。しかし、彼らは試合後のインタビューで、死闘の末に勝利した日本チームを称え、さわやかにフィールドを後にしました。このとき会場にいた観客は、大きな拍手を敗者となったアイルランドの選手や監督に送りました。そしてメディアも彼らに対し、惜しみない賛辞を世界中に発信していました。・・・(中略)



2018年の夏の全国高校野球選手権大会。秋田県代表の金足農業高校が決勝で敗れた時も、金農の選手たちは表彰式では堂々と準優勝盾を受け取り、胸を張って甲子園を後にしていました。多くの国民が感動し、彼らの健闘を心から称えていたものです。

スポーツ界では様々な競技が毎日行われています。文化面でも、コンクールや大会が行われています。本校にも運動部と文化部があり、日々勝利や入賞に向けて努力を重ねていま

す。特設部や校外部の生徒も頑張っています。



滝二中の生徒諸君には、自分たちの目標に向かって全力で努力することで自分を鍛え、成長してほしいと願っています。しかし、日本一、あるいは世界一にならない限り、ほとんどのチーム・部はどこかで敗れます。負けた時こそ、歯を食いしばって悔しさをこらえて相手を称え、周囲の人々へ感謝を表すことのできる人間になってほしいと思います。

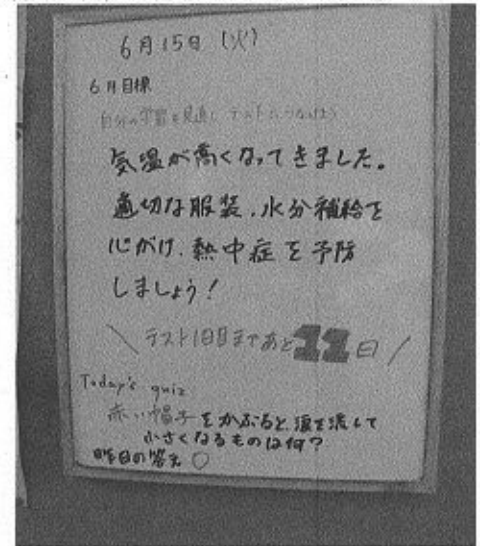


“Good Loser”(グッド・ルーザー)、「良き敗者」という言葉があります。競技者として鍛え上げた人間性の神髄は負けた時の姿勢にあり、それを示すことができる者が本物の選手・競技者なのです。目標に向かって全力で努力を重ねて自分を磨き、敗れた時もぜひ自分で胸を張ることができる、周りからも称えられるような人間に成長してほしい。

“Be a Good Loser(グッドルーザーになれ).”・・・敗れた時こそ、誇り高き滝二中生らしく堂々と「良き敗者」として振舞ってほしいと願っています。

## Today's Quiz-クイズに挑戦

階段の踊り場に、今月の生徒会目標(6月は「自分の学習を見直し、テストにつなげよう」と)と執行部からのお知らせやお願いが書かれています。最後の方には教科の問題や、などなども1問あります。これで全校生徒の興味を引き、執行部連絡を読んでもらおうということなのでしょう。私も毎回足を止め、楽しみに解いています。16日の“Today's Quiz”は「赤い帽子をかぶると涙を流して小さくなるものは何?」でした。皆さん、わかりますか?(答えは表題)



## 大きな声と笑顔のあいさつ

全校朝会で、毎回執行部や委員会からの連絡や指示伝達等がなされます。6月16日の全校放送朝会では、村上陽海生徒会長からこんなことが話されました。「大きな声と笑顔で」挨拶、私も心がけたいと思いました。

先週から挨拶運動が始まりました。皆さんは自分から元気よく挨拶できているでしょうか。見ていると、たいていの人はできていますが、まだ全員とは言い切れません。

「挨拶なんかしても無駄だ」と思っている人はいませんか。確かに挨拶はたった一言ですが、相手の(ちょっとした意識でその一言が)気持ちをすっきりさせてくれます。

挨拶運動はまだまだ続きます。私は大きな声で笑顔で挨拶することを意識しています。ぜひ、1回でもいいので、自分から元気よく挨拶してみてください。きっといい気持ちになるはずですよ。